

やつおもて

2022

No. 36 (7月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員

電話: 45-1918

E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

わ～れは～

う～みのこ



し～らな～みの～



好天続きでしたが、恵の雨が降り田んぼや畑も一安心ですね。
雨に濡れた、色とりどりの紫陽花がきれいで、梅雨の曇りがちな
気分を晴れやかにしてくれますね。(つぬ)

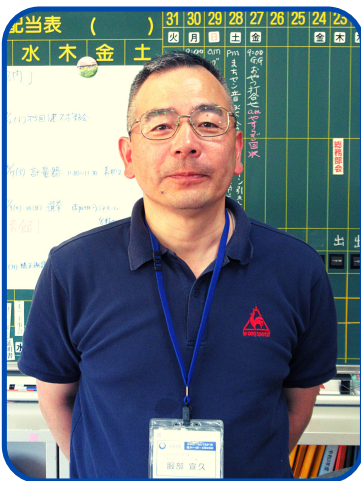
小学生人権標語テスト入選作品

大丈夫 仲間がいるよ わすれずに

ご挨拶

「我ら和田の子」

センター長 服部 宣久



「見よ 山河は 緑なり～♪ 人の心は美しく～♪」これは、
平成26年3月に閉校した和田小学校校歌の歌い出しです。
この地から巣立ったたくさん子どもたちを、地域の皆様
は、大切に見守り育ててくださったことでしょう。「和田
小学校」はなくなりましたが「和田まちづくりセンター」
がそれに代わって皆様に愛され、子どもから高齢の方まで世代を越えて集まり、
たくさんの思い出をつくることのできる憩いの場になればと願っております。4月
に着任して間もない私は、皆様にお伝えできるような何の実績もありませんが、
和田小学校校歌にあるような姿をあらためて実現させていきたいと思います。
私一人の力には限りがありますが、地域の皆様のご協力をいただいて「和田の
郷」を少しでもよくしていきたいと思います。「我ら和田の子 手をとろう～♪」



！前回のお話しは…

文・絵 佐々岡健次

！決断！

1845年、喜一郎23才ミネ21才の時に2人は結婚をした。「旨いものを食わせた。そしていい仕事をさせたい」とミネの思いに、喜一郎の技量は日に日に腕の冴えをみせ、築造の事で頭をいっぱいにしていた。それは食事中も…。というところでした。では、続きをどうぞ！

喜一郎の本当の優しさを知っているからこそ口に出せない。ミネは喜一郎の仕事への思いを邪魔するような事はできなかった。只…只、悲しい目をして「ある、決心をする」

！行動に移す



それは春まだ浅き日の夕方、喜一郎が仕事から帰ったが、家の中は暗い。行灯の明かりも無い。どこか近くに出かけて遅くなっているのか？喜一郎は少し心配になってきた…どこでソボ口をうっているのかな？冷たい夜空に星がまたたく程になってもミネは帰ってこない…。

！ミネの悲しみ

2人の会話も少なくなり、時折水屋から様子をみながらミネは「もっとゆっくり味わって食べて欲しいのに」と思う。ミネの足元に飼い猫のミーがソ〜と寄って来てミネを怪訝そうに見上げている…。それを抱き上げて、猫の頭をなでながら「しかたないわあ…」とつぶやく。

「ミネのやつ！又、実家に帰ったんだ…しょうがないなあ…。」

喜一郎さん
ミネさんの思いに
気づいて！





子どもの歯科医院 IN アメリカ



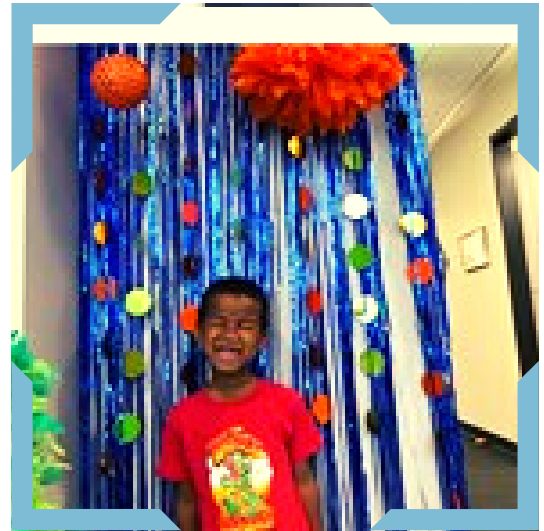
文・写真 教子ウィムセット



かれこれ40年前になりますが、私たち家族が多岐町に住んでいた頃、歯科医院は、強い薬品の匂いが漂う（ちなみにこちらの歯科医院はどこも無臭です）不気味な音がする機械に囲まれ、痛みを我慢しながら治療するという、私には恐怖の場所でしかなかった記憶があります。ですから、こちらの様子を見て、なんじゃこりゃ〜！とあまりの違いにショックを受けました。



それから、こちらの歯科医師や衛生士さんたちは、息子たちを子ども扱いせず、積極的に彼らを治療に巻き込みます。“あなたにはこんな治療が必要なんだけれど、今日できるかな？来週にする？どうしたい？これから使う薬は味が選べるけど、何の味が良い？アナタは甘いもの

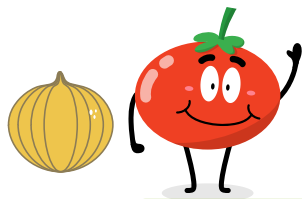


を食べ過ぎだからオヤツは控える必要があるよ。毎日歯間フロスを欠かさないこと！”と教育も欠かせません。説明を受け、話し合った後に自分で考えて選ぶ、という課程は子どもたちにとって、非常に良い経験となっています。めざせ、80歳まで自分の歯！子どもたちには、歯も体や心と同じように大切にしたいですね。



教子さんの暮らすアメリカは、5月末から7月末まで2ヶ月間夏休みに入り、8月から新学期がスタートします。そして！ジャメイン君は中学校入学です。次回は新しい学校生活など教えてもらいます。

次回も お楽しみに！



野菜づくり体験教室



サツマイモの苗植え



5月8日（日）6家族16名が参加して、サツマイモや夏野菜の苗植えを行いました。この教室は親子活動を通し、食への関心を高め、作る楽しさを知ってもらいたい！という思いで行っています。畑の看板作りや水やりなど子ども達が率先して行う姿が見られました。今から収穫が楽しみです♪

【和田地区の歴史コーナー】

和田地区のお寺紹介（廃寺）⑤

【昭林庵（本郷）】

上本郷の坂根谷から岩畳の「トチ谷」に通ずる道が通っていた。現在はほとんど利用されていない。この道ぞいの山中に昭林庵という小堂があり、昔から堂守が住んでいたという。1781年（天明元）及び1792年（寛政4）に亡くなった堂守の位牌があるという。明治20年ごろ住んでいた堂守の夫婦が亡くなったのちは無住

現在の昭林庵辺りの風景



になっているという。山奥にあった堂を一間四方に縮小し昭和になって現在地移したという。石仏一体と弘法大師像が安置されてる。

（旭町誌上巻より抜粋）